



総合交通メールマガジン 第5号

平成20年11月28日発行

発行元：国土交通省 政策統括官付 川西参事官室

目次



Topics

- ・「観光圏整備法」に基づく観光圏の形成への支援について
- ・「自律移動支援プロジェクト」の取組について



地域の取組紹介

- ・南房総地域観光圏整備推進協議会
- ・イーグルバス株式会社



Information

- ・「鉄男・鉄子、みなさんの部屋」
- ・総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・地域の取組募集！！



編集後記

Topics



「観光圏整備法」に基づく観光圏の形成への支援について（観光庁 観光地域振興課）

観光交流人口の拡大により、自立的な地域経済の確立を図るためには、内外の観光客の宿泊旅行回数・滞在日数を拡大することが必要です。

このため、内外の観光客による2泊3日以上滞在型観光ができるような観光エリアとして「観光圏」を形成し、滞在時間を伸ばしてもらう地域の取組について支援するため、今年7月に「観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する法律」（観光圏整備法）が施行されました。

具体的には、市町村や都道府県が作る「観光圏整備計画」に基づき、地域で実際に取組を行う民間組織などが共同で作成する「観光圏整備実施計画」について、観光庁を所管する国土交通大臣が認定を行います。認定を受けると、計画に書かれた取組に補助金を受けられたり、観光圏整備事業を実施する運送事業者が共同で発行する共通乗車船券について、国土交通省への手続きが一本化できるなど様々な支援が受けられます。

なお、平成20年10月の観光庁発足に合わせて、全国16地域から提出された「観光圏整備実施計画」を認定しました。各地域では、観光圏内の温泉間を周遊する巡回バスを実験運行するなど、地域の個性を生かした取組が計画されています。今後は、各地域での取組について、国としても観光庁が中心となり、総合的に支援していきます。

※観光圏整備法について、詳しくはこちらもご覧ください。

URL : <http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kankochi/seibi.html>

「自律移動支援プロジェクト」の取組について

(国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路研究部 道路空間高度化研究室)

国土交通省の研究機関である国土技術政策総合研究所（以下、国総研）は、茨城県つくば市にあり、住宅・社会資本分野で唯一の国の研究機関として、行政と一体となった技術政策研究を行っています。

国総研は、国土交通省が進める自律移動支援プロジェクトにおいて、平成21年度以降の定常的なサービス提供を目指し、技術仕様の策定、様々な技術的課題への対応策を考えるといった技術的検討を担当しています。プロジェクト全体を統括する国土交通本省、各地の実証実験実施地区（地方整備局、自治体、民間企業等）とも密に連携しながら進めています。

プロジェクトで用いている自律移動支援システムに関する技術動向は、日々めまぐるしく進化、変化しています。そのため、技術的検討に当たり、学識経験者等の助言を頂くため「自律移動支援プロジェクト技術検討会議」を設置し、去る11月13日（木）に第1回技術検討会議を開催しました。

技術検討会議の座長には、月尾嘉男東京大学名誉教授が選出され、会議の中では、「現場での創意工夫や競争的発展を促進するような仕様づくり」、「発展途上の技術でも積極的に活用しながら伸ばしていくことの重要性」など、今後のシステムづくりの礎ともなりうるような貴重な審議がなされたところです。

会議資料については、以下のHPで公開しておりますので、是非ご覧ください。

☆「第1回自律移動支援プロジェクト技術検討会議」の会議資料

URL : <http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/jiritsu/index.htm>

地域の取組紹介

南房総地域観光圏整備推進協議会(館山市経済観光部商工観光課)

Topicsで紹介した「観光圏整備実施計画」のうち、交通移動の利便性向上に関する取組事例を、南房総地域観光圏整備推進協議会より「『南房総地域観光圏』の形成～ゆっくり滞在して楽しめる新たな南房総ツーリズムの創出へ～」と題して紹介頂きます。

南房総地域観光圏では、送迎バスや周遊バスのほか、観光ガイドタクシー、レンタサイクルやジェットホイル船などを組み合わせて、多岐にわたる取組を計画しています。

【南房総地域観光圏整備推進協議会の取組】

<http://www.ml.it.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/minamiboso-chiba0811.pdf>

館山市役所ホームページ：<http://www2.city.tateyama.chiba.jp/>

鴨川市役所ホームページ：<http://www.city.kamogawa.lg.jp/>

南房総市役所ホームページ：<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/>

鋸南町役場ホームページ：<http://www.town.kyonan.chiba.jp/>

イーグルバス株式会社

運行ダイヤ最適化によるコストと品質の改善を目指した事例として、イーグルバス(株)より「運行ダイヤ最適化による事業改善の取組」と題して本号と次号の2回に分けて紹介頂きます。

イーグルバス(株)では、路線バスの運行ダイヤ最適化にあたって、これまでに2回のダイヤ改定と3回のアンケート調査を実施しています。今回は最適化の手順と第1回アンケート調査及びダイヤ改定です。

【イーグルバス(株)の取組】

<http://www.ml.it.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/eagle-bus0811.pdf>

イーグルバス株式会社ホームページ：<http://www.new-wing.co.jp/bus/outline.html>

Information

「鉄男・鉄子、みなさんの部屋」(国土交通省 鉄道局 総務課 企画室)

国土交通省鉄道局では、鉄道の良さを知り尽くし、鉄道を愛して下さっている日本中の「鉄男」さん・「鉄子」さん、そして、日本中の皆様が、鉄道を語り、鉄道をもっと身近に感じて頂けるよう、どなたでも気軽に参加して頂けるホームページを作りました。

2008年7月1日から8月31日までの間、鉄道の魅力や鉄道文化を伝えるエピソード等を募集したところ、全国各地から沢山の応募を頂き、誠にありがとうございました。

選考委員会を開催し、4つのテーマで応募頂きました作品の中から大賞と部門賞を選考し、10月11日・12日に開催された「鉄道フェスティバル」で表彰させて頂きました。

なお、当ホームページでは、鉄道の魅力や鉄道文化を伝えるエピソード等を引き続き募集しており、頂きました作品を順次、ホームページでご紹介いたします。応募方法等、詳しいことは「鉄男・鉄子、みなさんの部屋」ホームページをご覧ください。

URL : http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk1_000002.html



総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

地域の取組募集！！

当室では、情報提供頂いた取組をメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取組について情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

【情報提供頂く内容】

例えば、

- ・ 低炭素社会の実現に向け、モビリティのあり方を見直す取組（交通の再編等）
- ・ 公共交通の利便性向上を目指した取組
- ・ 交通の改善により地域活性化を図る取組 など

※ これまでに、北海道当別町、茨城県、滋賀県東近江市、岩手県盛岡市、福井県福井市、三重県鳥羽市、兵庫県三木市、南房総地域観光圏整備推進協議会、イーグルバス（株）の取組を紹介させて頂きました。



今回は観光庁の取組である観光圏の特集とそれに関連した南房総地域観光圏の事例を紹介しました。また、メールマガジン初となる民間からの事例紹介として、イーグルバス（株）様に協力頂きました。ご多忙のところありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。

観光圏に関しては興味のある方も多いと思いますので、ご意見等あればお寄せ下さい。また、民間事業者の取組も業務に活用できることが多いと思いますので、是非ご覧ください。

総合交通メールマガジンでは、さらに幅広い情報提供ができるように取り組んでいきたいと考えております。今後とも総合交通メールマガジンをよろしくお願いたします。

さて、今回は参事官室のMさんによる体験記を掲載します。是非ご覧ください。

先日、某自治体で地域のモビリティ確保に向けた取組についてお話を伺う機会がありました。路面電車、路線バス、コミュニティバスとそれぞれ手段は違いましたが、それぞれ創意工夫されながら取り組まれている様子が良く分かりました。

その中で、「公共交通は、事業の収支だけが評価ではない。一種の福祉を担っている。」という言葉が複数の方からお伺いし、印象に残りました。もちろん、事業として運行している以上、採算性を無視することはできませんし、利用者の声を踏まえたダイヤの見直し、駅へのアクセス向上、商業施設とのサービス提携など様々な取組により経営改善を図られていました。ただ、それにも限界がありますし、赤字だからと言って地域のモビリティを担っている役割まで全て否定されるということにもならないと思います。

今回、移動には極力公共交通機関を使うことにし、路面電車にも乗車しました。私の生まれ育った地域では、路面電車は走っておらず、あまりこれまで乗車する機会がなかったのですが、乗り心地が思ったよりも良く、休日にのんびり乗るのも楽しいかなと感じました。車のドライバーからすると邪魔な存在かもしれませんが、環境にもやさしい路面電車が今後も存続していくことを祈り、私も機会があれば今後は積極的に乗っていこうと思った、とある秋の一日でした。

【問い合わせ先】

国土交通省 政策統括官付参事官室 メールマガジン担当 いそがわ 五十川、辻本

TEL : 03-5253-8111 (内線53-113、53-115)

FAX : 03-5253-1675

E-mail : soukou@mlit.go.jp

URL : <http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/soukou/index.html>

